

これまでのとりくみ(P・D)

【教育目標】豊かな心を持ち、自ら考えすんで行動できる子どもを育てる

日根野小学校の現状

【良さ】

- 与えられたことがしっかりできる。
- 落ち着いて学習に向かうことができる。
- 書くことに対して抵抗が少ない。

【課題】

- 自主的に計画し、学習をすすめる。
- だれとでも関わり合い、つながり合う。
- ICT活用により互いに考えを交流する。

【めざす姿】

研究主題「高めよう！伝える力」～話し合い活動から“自主的で深い学び合い”をめざして

- ★自主的に学びに向かう姿
- ★友だちと学びを深め合う姿
- ★子どもが互いにつながり合う姿

全国学力・学習状況調査の結果より(C)

教科の結果より ※数値は本校/全国 の割合で表しています。(一部除く) ○成果 ●課題

国語 ○全体的な正答率は全国よりも上回っている。(69/66.8)

○国語で学習したことは将来社会に出た時に役に立つと考えている児童が多い。(83/90.4)

○文章を書く問題では、無回答率が低く、書く意欲が見られる。(4.0/5.0)

●学習について、受け身であり、意欲的でない児童が多い。(好き:50.4/58.3) (得意:57.7/61.4)

●情報量が多い中から重要なことを読み取ったり考えたりすることが苦手である。(61.7/57.5)

算数 ○全体的な正答率は全国よりも上回っている。(61/58)

○算数で学習したことは将来社会に出た時に役に立つと考えている児童が多い。(90.3/91.6)

●全体を通して、全国より無解答率が高い。問題が後半になるにつれてその割合が高くなる傾向にある。

●解き方がわからないときに考えることをあきらめてしまう児童が多い(73.2/82.3)。

●小数や分数について、何をもとにしているかを考えることが苦手である。(71/74.1)

●自分の考えを図や言葉などで記述することに課題がある。(34.7/34.9)

理科 ○授業がよく分かると感じている割合が高い。(87.8/88.9)

○授業で、観察や実験をよく行っていると回答している割合が高い。(87.8/92.4)

●予想(仮説)を立てたり(79.7/85.7)、結果から分かったことを考えたり(80.5/88.4)、進め方・考え方を振り返ったり(69.2/76)する児童の割合が低い。

●選択問題で条件を読まず、イラストで選んでいる可能性が高い。(誤答18.5%)

●情報量が多い中から重要なことを読み取ったり設問部分を探したりすることが苦手である。また問われ方が変わると答え方が分からなくなる。

児童質問より

○ICTの活用が年々できてきており、活用できていると感じている割合が高い。

○友だち関係に満足している割合が高い。(95.1/91.7)

○家庭での学習時間に差がある。(3時間以上:15.4/12.1)(全くしない:13.0/5.7)

●周りに対して興味がない。(他人事ととらえる)(65.9/78.1)

●いじめはどんな理由であってもいけないという割合が低い。(73.2/81.4)

これからのかたち(A)

子どもたちが楽しい!と実感できる授業づくり

国語

- ・活字を読む機会を増やし、新しい言葉や内容に出会う機会を増やす。
- ・他教科をも意識しながら、イメージする力に繋がる読解力を培う授業づくりをすすめる。
- ・授業の中に自分で考える時間を確保し、また友だちと交流することで、考えることの楽しさや良さに気づかせる。

算数

- ・プリントやICTコンテンツを活用し、基礎計算力をつける。
- ・既習の学習内容が新たな学習につながっていることを実感できる授業づくりをすすめる。
- ・問題の内容をとらえ、絵や図、具体物を使いながら自分の考えを表す時間を多く設定する。

理科

- ・問題解決の過程を繰り返す中で、自分の興味をもとに学習を広げられる授業づくりをすすめる。
- ・実験結果などをもとに、自分の考えを分かりやすく整理し、表現する機会を増やす。

児童質問

- ・セカンドステップやソーシャルスキルの学習などを活用し、自分や相手の気持ちを尊重する態度を育てる。
- ・行事や休み時間の活動などを通して様々な児童と関わることで、つながりを深める機会を増やす。